

2016年度（第6期） 事業報告書 （2016年4月～2017年3月）



ハイライト

ハイライト ～事業の変遷～

震災直後に避難所で学習サポートを開始。その後、仮設住宅での活動に移行し、4年以上にわたって活動を継続してきた。

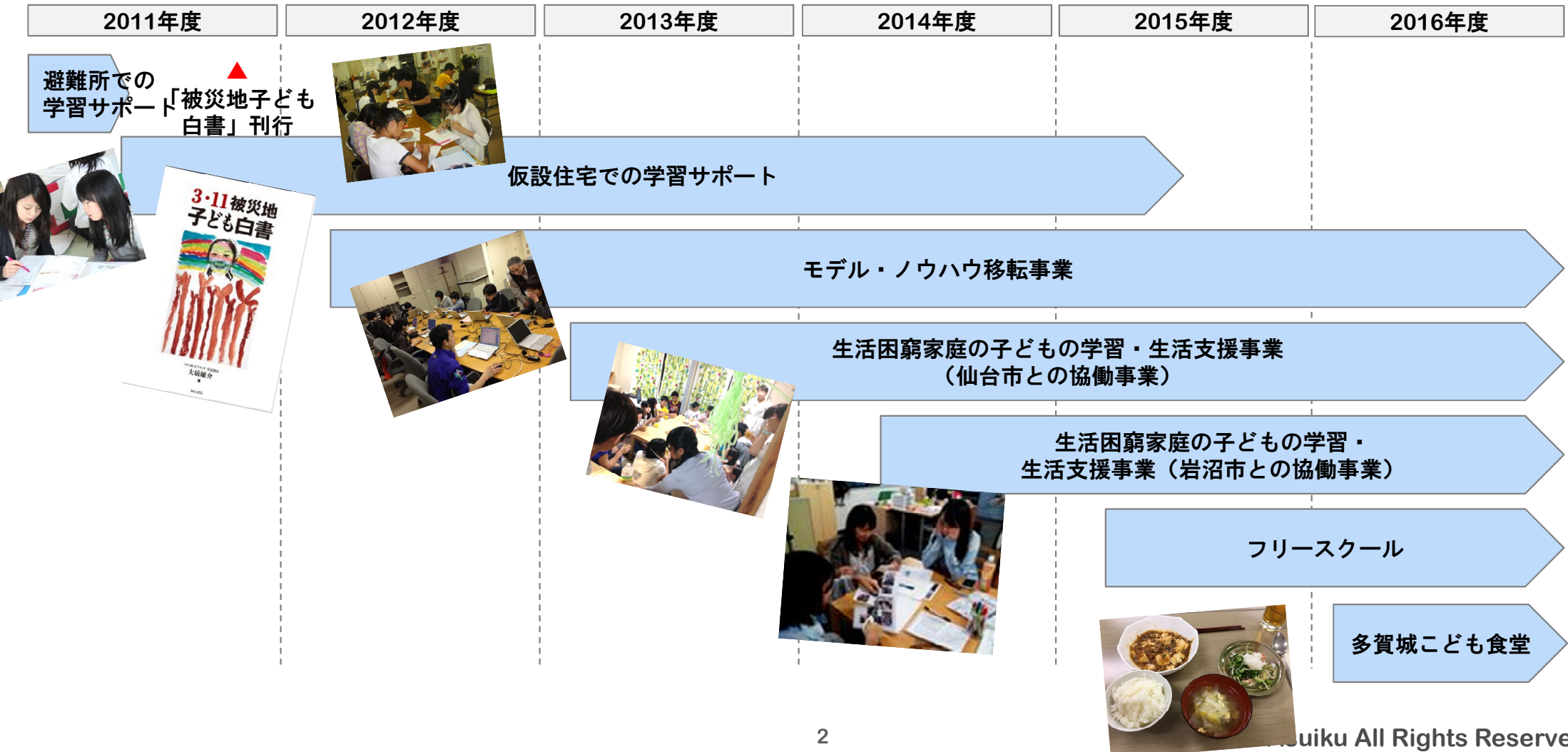
2011年12月に刊行した被災地子ども白書を契機に、子どもの貧困問題に取り組む方針を掲げた。

より多くの「まなび場」を展開するためにモデル移転事業に着手。

2013年度からは、生活困窮家庭の子どもたちの学習・生活支援事業を仙台市と協働で開始。2014年度からは岩沼市とも同様の事業を開始。

2015年度から、不登校の子どもをより手厚くサポートするために、フリースクールを開設。

2016年度には、多賀城市にこども食堂を開設。

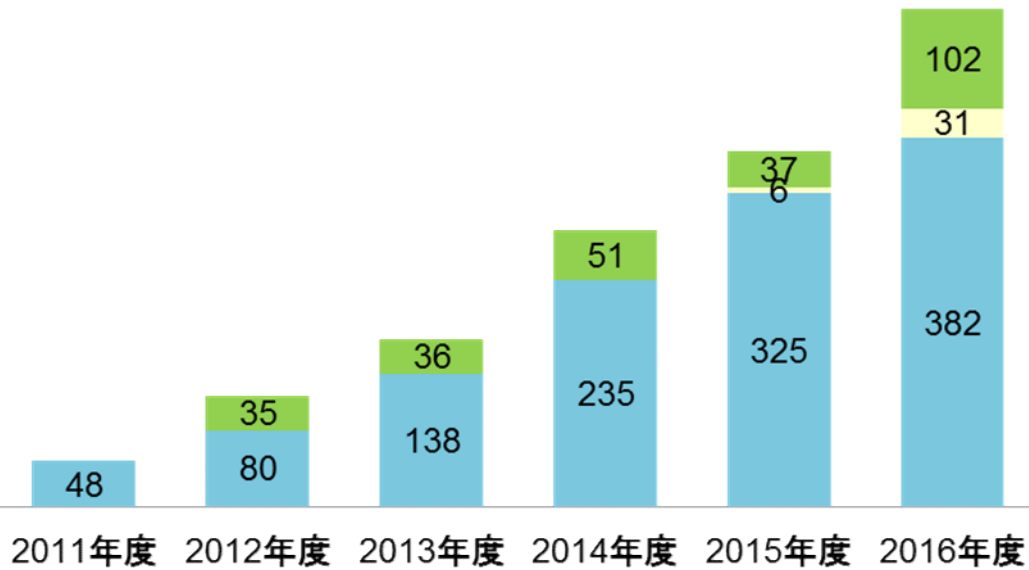


ハイライト ～受益者数・拠点数の推移～

受益者数、拠点数ともに年々増加している。

受益者数（子ども）の推移 （人）

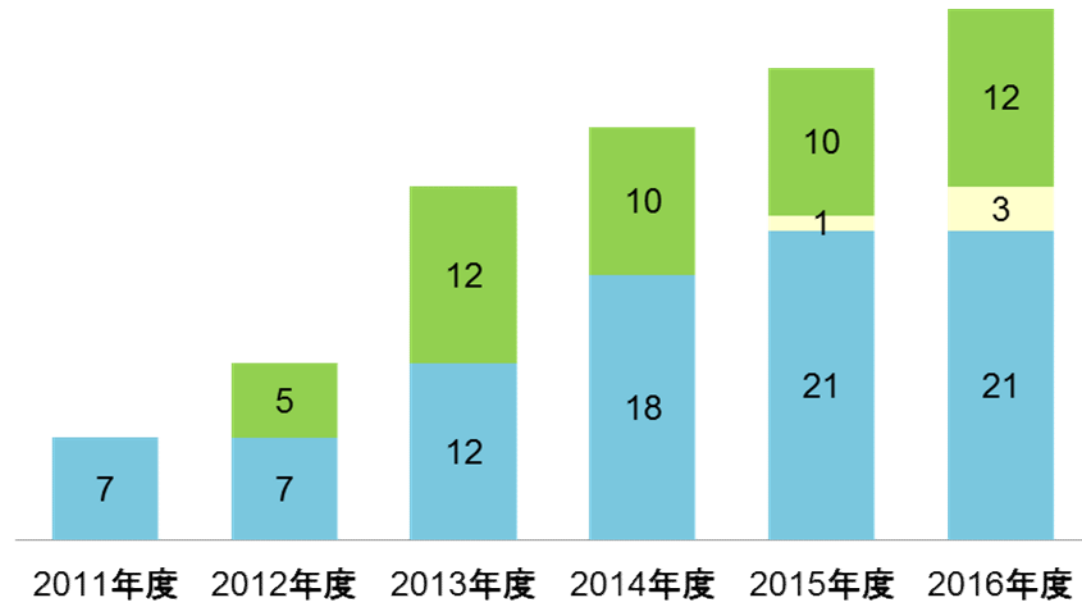
■ 学習支援 ■ フリースクール他 ■ モデル移転



- ✓ 仙台市・岩沼市との協働事業の参加者が増加。
- ✓ 新規事業の多賀城こども食堂や高校生サポートの参加者も加わった。

拠点数の推移 （ヶ所）

■ 学習支援 ■ フリースクール等 ■ モデル移転

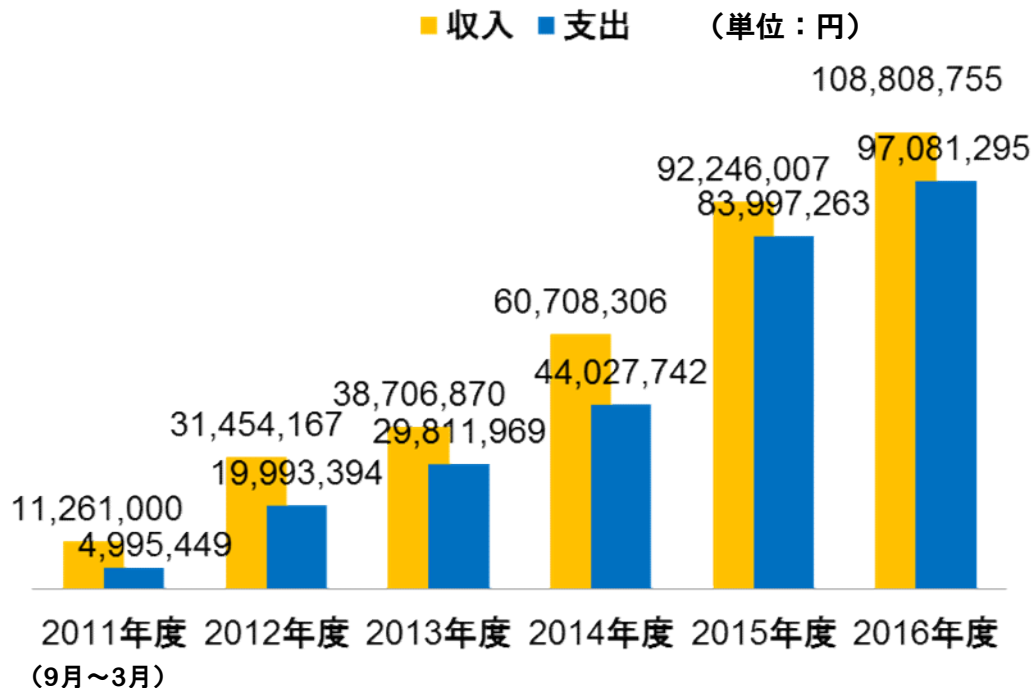


- ✓ 多賀城こども食堂、高校生サポートの拠点が追加された。

ハイライト ～収支・収益構造の推移～

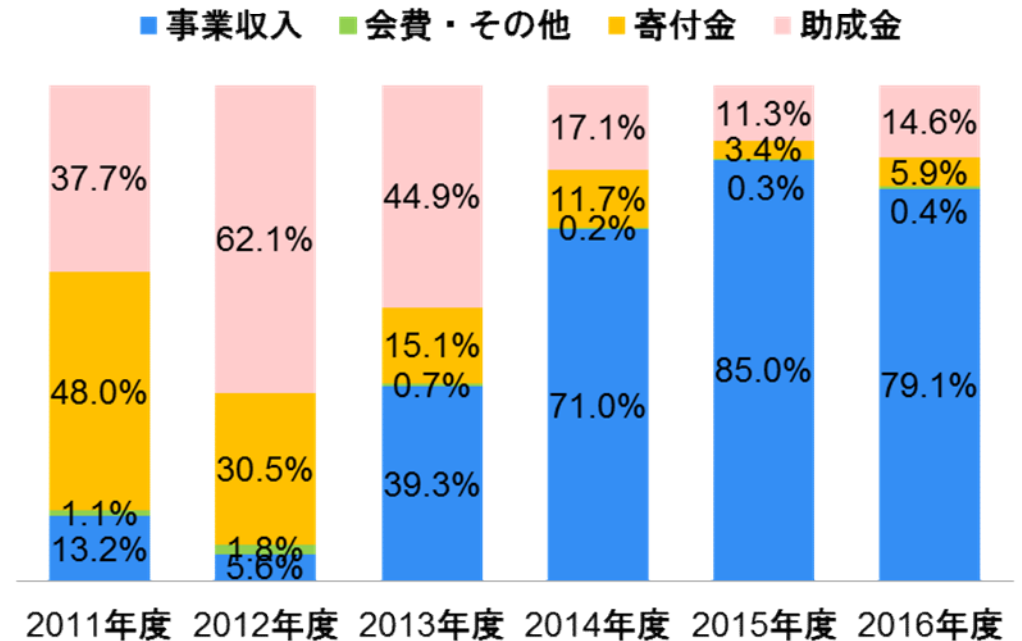
年々事業規模は拡大を続けているが、財務的な持続可能性は高い水準を維持している。

収支の推移



- ✓ 収入は対前年度比118%となり、それまでと比べると緩やかな伸びとなった。
- ✓ 2016年度は2017年度からの事業拡大を見越した基盤強化（バリュー策定・人材採用等）の年として位置づけている。

収益構造の推移



- ✓ 基盤強化の資金として助成金を活用したため、助成金比率が前年度よりも高くなった。
- ✓ しかし、引き続き事業収入比率が高く推移しており、財務的な安定性を維持している。

多賀城こども食堂の開設

✓ 多賀城市とも連携し、アスイクが直営する子ども食堂を開設した。

塩竈市で新規事業の開始

✓ 塩竈市内の子育て環境の向上を目的とした複数年のプロジェクトに着手した。

バリュー策定ワークショップの開催

✓ 基盤強化の一環として、半年間にわたってバリュー・行動指針を策定するプロジェクトを実施した。

事業詳細

当初の事業計画で掲げた事業展開の方針に基づき、複数の事業を実施した。新規事業として3事業を行なった。

事業展開

事業内容（★は新規事業）

生活困窮者自立支援制度の定着・拡大

- ☑ 仙台市学習・生活サポート事業
- ☑ 岩沼市学習支援事業

既存制度外のニーズへの対応

- ☑ ひとり親家庭生活支援講習会事業
- ☑ フリースクール事業
- ☑ モデル・ノウハウ移転事業
- ★ 高校生サポート事業
- ★ 塩竈アフタースクール事業
- ★ こども食堂事業

アドボカシー（代弁機能）の強化

- ☑ 調査・研究事業
- ☑ 講演・イベント事業

引き続き、5区20ヶ所にて拠点を設けて事業を行なった。参加者数は年々増加しており、前年度の280名程度から約330名に増加した。

観点	要素	指標	定義	測定方法	2016年度 実績	2016年度 目標値
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	20	20ヶ所
		参加者数	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	331	350人
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	13%	約17%
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	1921	1900回
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	5766	5700時間
		出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	68%	70%
	教室運営 (質的側面)	途中退会・休止率	どの程度の参加者が途中で退会・休止したか	参加者リストへの記録	25%	15%
		参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	225	120人
	ボランティア	研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	6	6回
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	189	延120人
	課外プログラム	課外プログラム開催回数	課外プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	11	6プログラム
		課外プログラム参加人数	何人の子どもが課外プログラムに参加したか	記録表による集計	207	90人
アウトカム	学力・学歴	保護者支援	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	904	600件
		専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	26	20件
	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	99%	100%
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:7.2点 数学:6.9点	英語:10点 数学:10点
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	73%	70%
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	70%
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	70%
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		72%	70%
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		64%	70%
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		79%	70%
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		58%	70%
		生活習慣の改善	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		50%	50%
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		62%	70%
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		61%	50%
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:46% 保護者:49%	参加者:60% 保護者:60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	保護者アンケート	65%	参加者:60% 保護者:60%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	参加者アンケート	69%	70%
		存在の受容	自分があるがままに受け止めてもらえたか		77%	---
	満足度	活動への満足度	参加者が活動に対して、どの程度満足できているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:93% 保護者:90%	参加者:90% 保護者:90%
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者:91% 保護者:88%	参加者:90% 保護者:90%

保護者への支援を充実させるために、みやぎ生協の協力のもと、ひとり親家庭を対象とした進学費用講座を開催した。

講座の概要

- 実施背景：
 - アスイク参加家庭より、例年質問の機会が多い「高校入試制度概要と進学費用やそれに関わる支援金制度」等の解説を実施。可能な限り多くの保護者が参加できるように、時間と曜日、開催場所を分けて同じ企画を4回実施した。
- 実施協力：みやぎ生活協同組合 くらしと家計の相談室 副室長 向井優子氏
- 当日概要：

2016年10月29日 (土)	16:30~19:30	太白区中央市民センター	9名
2016年11月2日 (水)	17:30~20:30	フォレスト仙台	4名
2016年11月8日 (火)	17:30~20:30	太白区中央市民センター	8名
2016年11月11日 (金)	17:30~20:30	仙台レインボーハウス	11名
- 参加者合計：32名
※また上記以外に、講座の内容を知りたいという方7名に資料送付を実施。
- プログラム：
 - ▶宮城県の公立高校入試制度及び私立高校入試について
 - ▶高校進学費用について
 - ▶保護者茶話会

実施風景

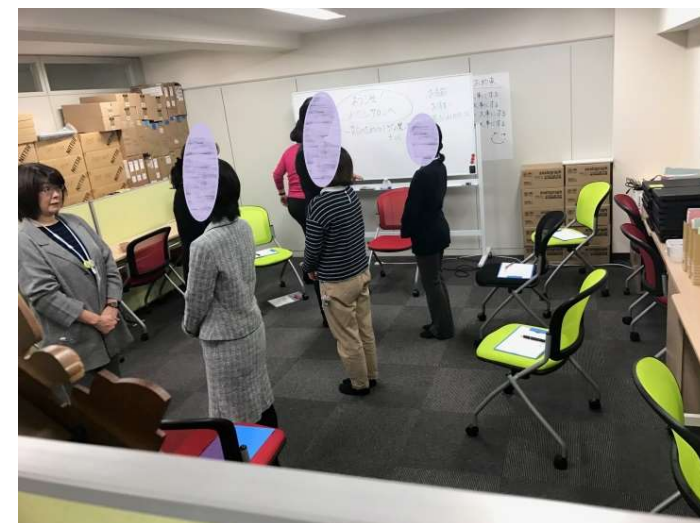


費用講座の後半に行った茶話会を発展させる形で、ワークショップ形式でのピアカウンセリングを実施した。

講座の概要

- 実施背景：
 - ひとり親家庭の場合、保護者一人で母役として、父役として、社会人として、地域住民としてなど複数の役割を担っている(担わざるを得ない)方が多くいる。場合によってはそうした役割が保護者の負担やストレス原因となっていることもあるため、それを一度自分自身と切り離してもらえる場を用意した。そうすることで家庭内での養育課題の抱え込み、子どもへの過干渉、ひいては虐待予防につながればという意図もある。
 - 「ひとり親家庭」という参加カテゴリーの枠内で、困ったこと、嬉しかったこと等の共有、助言、応援などが参加者同士で行われ、話す方も聞く方も「ひとりではない」という安心感やつながりを得てもらうピアカウンセリングの効果も開催目的の一つである。
- 実施協力：NPO法人育自の魔法 代表理事 山口ひとみ氏
- 日時と場所：2016年12月14日(水) 18:00~21:00 アスイク本部
- 参加者：保護者6名(左記6名の他、体調不良による当日キャンセル2名)
- プログラム：
 - ▶ テーマ：「自分の人生を語る」
 - ▶ ワークショップ
 - 『私の特徴』(自分を肯定的に捉えているか否定的に捉えているか)
 - 『ライフライン』(時系列でのバイオリズムの浮き沈み)
 - 『ホメホメシャワー』(人を褒める、人から褒められる体験)

実施風景



引き続き、1か所の拠点を設けて子どもたちのサポートを行なった。参加人数は50名を超えている。
また、本年度より高校生の中退予防の取り組み、訪問支援を加えた。

観点	要素	指標	定義	測定方法	2016年度実績	目標値
アウトプット	教室運営 （量的側面）	拠点開設数	何ヶ所の拠点（教室）を開設したか	---	1ヶ所	1ヶ所
		参加者数	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	51	40人
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	---	---
		開催回数	延べ何回（日）の活動を行なったか	記録表による集計	204	192回
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	594	576時間
	教室運営 （質的側面）	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	65.3%	70%
		途中退会・休止率	どの程度の参加者が途中で退会・休止したか	参加者リストへの記録	27%	10%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	20	16人
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けの研修会を何回開催したか	記録表による集計	6	6回
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	30	延24人
アウトカム	課外プログラム	課外プログラム開催回数	課外プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	11	6プログラム
		課外プログラム参加人数	何人の子どもが課外プログラムに参加したか	記録表による集計	23	延30人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	87	---
		専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	8	---
	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数 （中学3年生のみ）	100%	100%
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語：1.4点 数学：5.6点	英語：10点 数学：10点
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート （肯定回答割合。以下同）	65%	70%
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		55%	70%
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		65%	70%
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		65%	70%
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		65%	70%
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校（大学）に進学しようという意識が生まれたか		75%	70%
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		80%	70%
		生活習慣の改善	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		60%	50%
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		65%	70%
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		65%	50%
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者：50% 保護者：55%	参加者：60% 保護者：60%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	88%	70%
		存在の受容	教室の大人たちは、自分をありのままに認めてくれた	参加者アンケート	75%	---
	満足度	活動への満足度	参加者が活動に対して、どの程度満足できているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者：85% 保護者：100%	参加者：90% 保護者：90%
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者：90% 保護者：100%	参加者：90% 保護者：90%

前年度からの継続事業として、フリースクールを運営した。
様々な機関での認知度が上がった結果もあり、参加人数は微増した。

概要

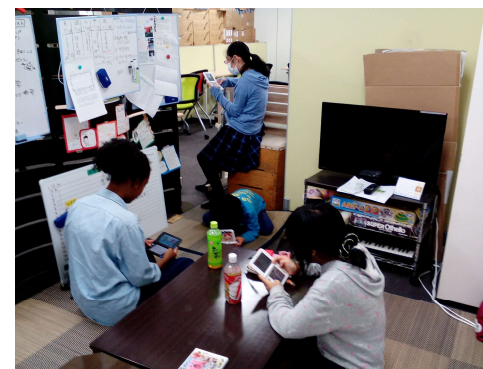
<実施内容>

- 対象：小学生～高校生年代
- 開設時間：月～金 10:00～17:00
- 場所：仙台市宮城野区榴岡4-5-2大野第2ビル2階
- 実施内容：小学生～高校生年代の不登校の子どもたちを対象とした居場所の運営。子どもたちの希望する過ごし方を尊重し、オーダーメイドの活動を実施した。具体的には、学習支援、ゲーム等の遊び、パーティの開催、小物の制作、フリーマーケットでの出店、体育館での運動など。
- 教育委員会や学校とも連携し、子どもや保護者の情報共有、出席認定も実施。必要に応じて、深刻な家庭内の問題を抱える子どものソーシャルワークも行った。

<成果>

- 参加者数：14名（小学校3年生～17歳）
- 出席率：42%
- 退会率：0%
- 進学率：100%（5人/5人）※中学3年生のみ

活動風景



対戦ゲームで交流



クリスマスパーティ



体育館で運動



手作りピザ

2016年6月より、みやぎ生協多賀城店集会室を活用し、市内で初となるこども食堂を開設した。

概要

<実施内容>

- ・ 内容：
被災・生活困窮世帯の子どもに対する被災者及び地域住民等による食事提供、交流。また、大学生等による宿題等のサポートも行うことで、子どもの参加率、若者の参加を促進した。
- ・ 場所：みやぎ生協多賀城店集会室
- ・ 日時：毎週金曜日17:00～20:30
- ・ 参加費：無料
- ・ 参加対象：
被災世帯及び生活困窮世帯の子ども、被災世帯の大人、地域の大学生等若者、その他地域住民

<成果>

- ・ 参加者数：子ども8名、保護者8名、ボランティア5名
- ・ 子どもの参加率（参加者各人の参加日/開催日の平均）：
86.3%
- ・ 開催回数：40回
- ・ 様々な人とコミュニケーションする自信の向上：アンケートでの肯定回答 100%
- ・ 栄養状態の改善（ここで食事をしたことで体調が良くなった等）：アンケートでの肯定回答 80%
- ・ 孤独感の解消：アンケートでの肯定回答 100%

活動風景



学習・生活サポート事業卒業後の中退を防ぐための取り組みとして、高校生を対象とした居場所づくりを行なった（2016年度は自主事業として運営）。また、過去の卒業生の追跡調査も実施し、中退予防事業の必要性を客観的に提示した。

居場所事業の概要

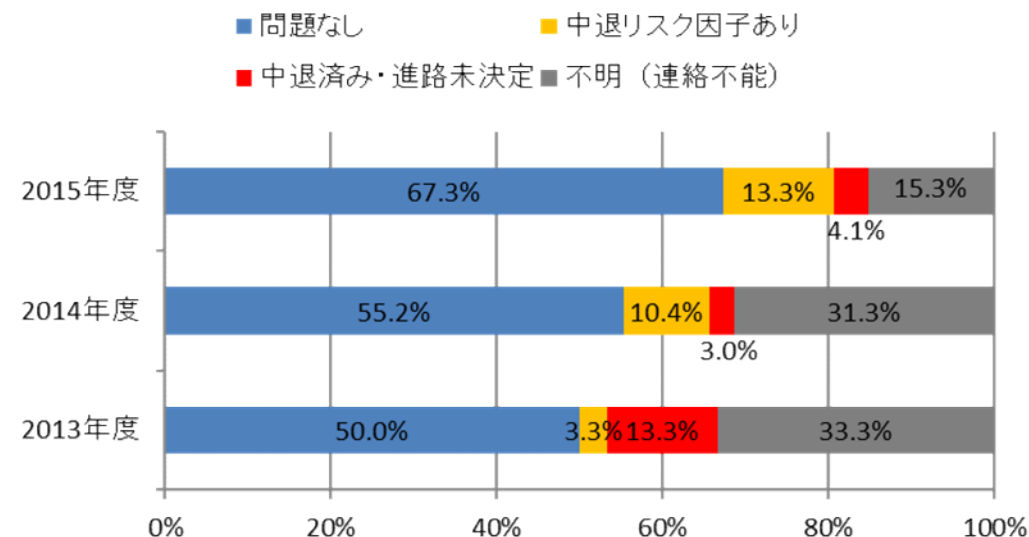
<実施内容>

- ・ 内容：中退予防、及び中退後の支援を目的に、居場所の運営を核として個別のニーズに応じた対応（学習支援、相談支援等）
- ・ 場所：仙台市宮城野区榴岡4-5-2大野第2ビル2階
- ・ 日時：毎週金曜日18:00～21:00
- ・ 参加費：無料
- ・ 参加対象：学習・生活サポート事業の卒業生

<成果>

- ・ 参加者数：9名
- ・ 延参加人数：110人
- ・ 開催回数：45回
- ・ 参加者の中退率：0%

追跡調査の結果



- ✓ 学習・生活サポート事業の過去の卒業生を追跡調査した結果、各年度に共通して、15%前後の卒業生が「中退リスク因子あり」、「中退済み・進路未決定」に該当した。両者の割合をみると、年数が経つほど「中退済み・進路未決定」が増えており、中退リスクが高い子どもが現実的に中退していく様子がうかがえる。また、年数が経つほど連絡が取れなくなる家庭の割合も増えていく。
- ✓ これらのことから、中学卒業後に切れ目なく、中退予防支援を行なっていくことの必要性が確認できる。

新規に2団体へ、「すらら」の導入・サポートを行なった。

項番	団体名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
3	ロージーベル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	まきばフリースクール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	ファミリーホーム子どもの家きむら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	みやこサポステ教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	ユースコミュニティー	23	21	22	23	21	20	22	25	21	19	11	11
14	ビーンズふくしま	0	0	0	0	0	0	2	1	1	5	3	3
15	わたしと僕の夢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	みやぎくりはらこどもねっとわーく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	もりおかユースポート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
18	NPO法人カローレ	11	10	10	31	27	23	19	18	18	16	14	14
19★	NPO法人エンカレッジ				0	45	24	48	39	41	39	33	29
20★	山形県母子寡婦福祉連合会							0	0	0	22	11	11
利用者数		35	32	33	55	94	68	92	84	82	102	73	69
導入団体数		10	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	12
1団体あたり利用者数		3.5	3.2	3.3	5.5	8.5	6.2	8.4	7.6	7.5	8.5	6.1	5.8

★：新規

2017年度から2ヶ年の計画で開始される塩竈アフタースクール事業の実施に先立ち、2016年度は市内の小学生のいる世帯へ悉皆調査を公益財団法人地域創造基金さなぶりと協働によって実施した。

概要

1. 調査の目的

塩竈市では、地方創生推進事業として平成29年度から放課後の子どもの居場所づくりを行う「塩竈アフタースクール事業（＊）」を実施する予定である。その前段として、放課後の現状と課題、ニーズを把握し、よりニーズに合った事業を実施していくため、アンケート調査を行った。

＊塩竈アフタースクール事業

放課後に子どもにとって魅力的な居場所を提供し、次代を担う子どもの育成を図る事業とし地域のコミュニティ、ボランティア、行政、民間事業者などが協働し、地域資源を活用して、放課後の子どもの居場所づくりを行うものである。

2. 調査の方法

（１）調査対象

塩竈市内の小学校7校に在籍する全児童2,419名の保護者

（２）調査方法

各小学校を通じて調査票の配布・回収を行い2,241件の回答

（回収率は92.6％）

（３）調査期間

2017年2月14日から2月21日

3. 有識者会議の開催

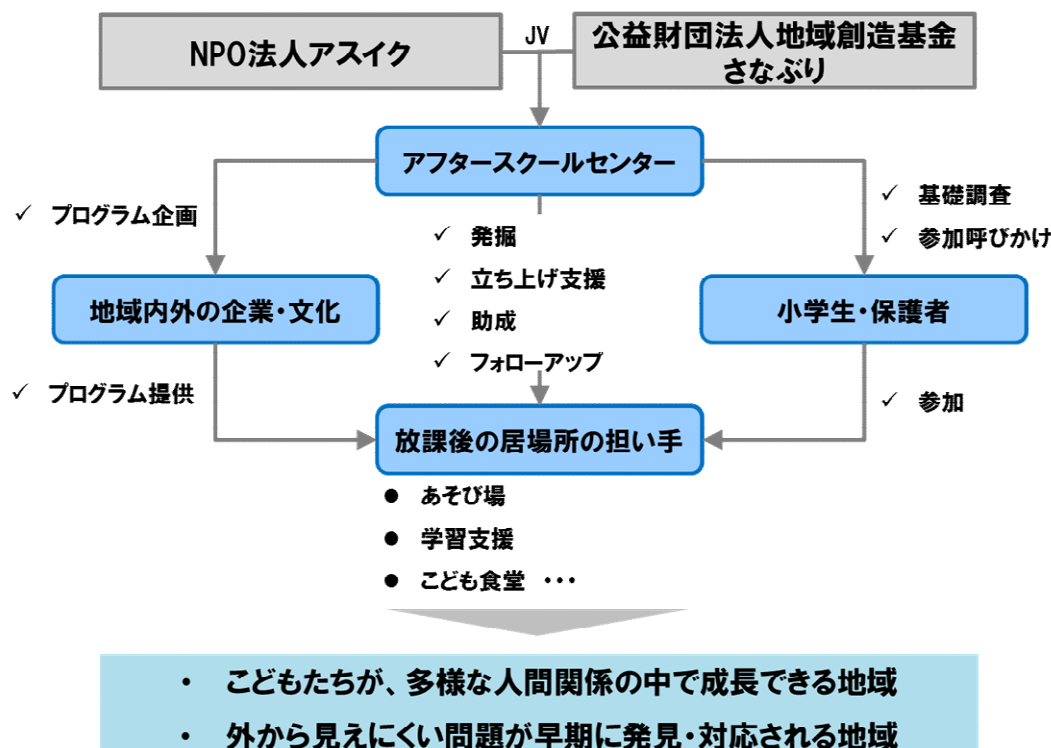
（１）日時： 2017年3月27日（月） 15:00～17:00

（２）場所： 塩竈市壺番館3階 共用会議室

（３）出席者： 塩竈市内の小学生の現状に知見を有する有識者7名

※ 調査報告書は、後日塩竈市HP上で公表予定。

2017年度以降の事業のスキーム



その他：バリュー・行動指針ワークショップ

組織の拡大を踏まえ、システムコーチングの手法を活用し、核となる価値観や行動指針を策定した。

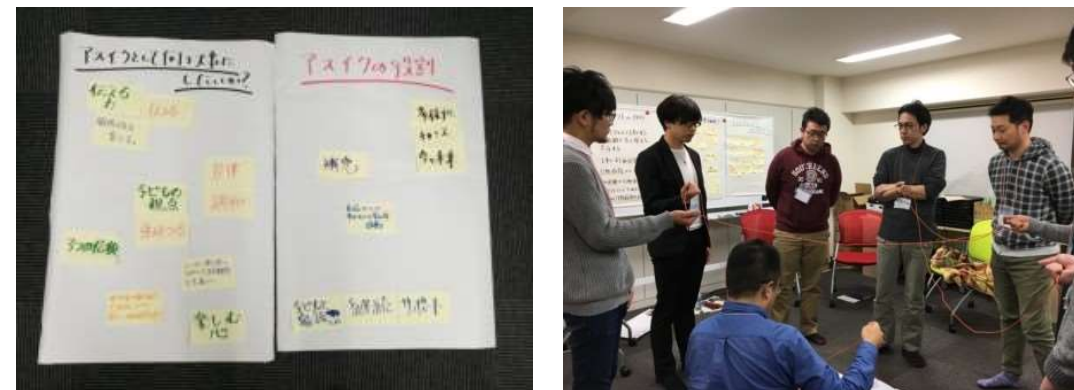
概要

■ 開催日：

- 6/18 (土) 9:30~17:30
- 7/22 (金) 13:00~17:00
- 8/26 (金) 13:00~17:00
- 9/30 (金) 13:00~17:00
- 10/28 (金) 13:00~17:00
- 11/25 (金) 13:00~17:00

■ ファシリテーター： 佐藤扶由夫、島崎湖

活動風景



アスイクのバリュー・行動指針 2016.12.ver.

バリュー(価値観)

自己肯定
Self-esteem

- ☐ こどもに関心をもって向き合います。
- ☐ 目の前の存在を、あるがままに受けとめます。
- ☐ 自分も楽しめます。

進歩
Progress

- ☐ 多様な考えに耳を傾けます。
- ☐ 失敗や変化を恐れない。

その他：社内研修

人材育成のために、多様な研修を開催した。

No	プログラム名	実施協力（敬称略）	日時	場所	参加人数（仙台）				参加人数（岩沼）			
					本部	サブ	サポ	その他	本部	サブ	サポ	その他
1	キックオフ＆コーチング研修	株式会社アライブ・ワン 代表取締役 後藤美香	5/29（日）13：00～17：00	宮城野区市民センター	8	17	26	---	1	3	4	---
2	eラーニングの有効活用研修	株式会社すららネット	9/11（日）10:00～12:00	アスイク榴岡教室	4	7	---	---	1	1	---	---
3	「児童養護施設で生きた、若者の言葉」	久波孝典	12/17（土）17：30～18：30	仙台レインボーハウス	8	25	31	3	1	4	5	---
4	第一部：「一年の総振り返り」～子どもたち・教室・自分～ 第二部：「ファンドレイズ講座」	半沢由子（ざわざわプロジェクト代表） 河合将生（office musubime代表）	3/4（土）12：30～15：30	仙台市市民活動サポートセンター	8	21	20	1	1	2	5	---
5	スーパービジョン	認定NPO法人Switch 小野彩香	原則月1回 2時間	認定NPO法人Switch	2	---	---	---	1	---	---	---
合計					38	70	77	4	6	10	14	0



その他：講演・講師、執筆・委員の実績

講演・講師

- ◆ 仙台市社会福祉協議会生活援護部会 講師
- ◆ 宮城県教育振興基本計画策定に関する圏域別意見交換会 発表者
- ◆ 登校拒否・不登校を考える夏の全国大会 分科会講師
- ◆ 亘理町民生児童委員研修 講師
- ◆ 東北大学地域経営実践論 ゲスト講師
- ◆ 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会「Kids' Day JAPAN in 福島」 コーディネーター
- ◆ 公益財団法人地域創造基金さなぶり 寄付月間公認イベント パネラー
- ◆ NPO法人さいたまユースサポートネット 学習支援事業映像化事業シンポジウム パネラー
- ◆ 公益財団法人子どもの貧困対策センターあすのば「全国キャラバンin山形」 パネラー
- ◆ 公益財団法人子どもの貧困対策センターあすのば「レベルアップ研修」 講師
- ◆ 宮城県保険医協会「第14回子育て支援シンポジウム」 シンポジスト
- ◆ JICAノンフォーマル教育研修 講師
- ◆ 若林区民児協研修会 講師
- ◆ NPO法人チャイルドラインみやぎ「サポートセンター支援業務」発表者
- ◆ 仙台市生涯学習支援センター「学びのまち仙台 市民カレッジ」 講師



委員等

- ◆ 仙台市市民協働によるまちづくり推進委員会 副委員長

表彰

- ◆ アショカが運営を支援する「UBS Social Innovators 2016」のshortlistに日本の団体で唯一選出

